



中生熟期の稲発酵粗飼料向けの水稻新品種

たちすがた

A New Rice Cultivar "Tachisugata" for WCS Use

「たちすがた」は、中生熟期で乾物収量2t/10aを実現した飼料用品種です。株の全重収量と可消化養分総量(TDN)収量が高く、稲発酵粗飼料に適します。

食料自給率の向上のために水田を利用した飼料用水稻の栽培が注目されています。そこで、中生熟期で茎葉の収量が高い稲発酵粗飼料用品種を開発しました。

黄熟期の全重収量が多収です

- 黄熟期の乾物全重が2t/10aと多収で、TDN収量も「タカナリ」より26%、「日本晴」より19%多収です。
- 出穂期は「タカナリ」より2日遅く、「日本晴」より5日早い“中生の中”の熟期です。



たちすがた

タカナリ

黄熟期乾物全重 (t/10a)

たちすがた	タカナリ	日本晴
2.02	1.62	1.75



たちすがた

タカナリ

日本晴

TDN 収量 (t/10a)

たちすがた	タカナリ	日本晴
1.20	0.95	1.01

出穂期 (月日)

たちすがた	タカナリ	日本晴
8月11日	8月9日	8月16日

命名の由来:「たちすがた」は、背が高くすりと立った姿が美しいことから命名しました

「たちすがた」は稲発酵粗飼料として関東以西での地域で利用が期待できます。

農研機構 作物研究所 稲研究領域

問い合わせ先:企画管理室 tel:029-838-8260

E-mail: www-nics@naro.affrc.go.jp <http://www.naro.affrc.go.jp/nics/index.html>

2008- I 2